

オンライン授業についてのアンケート 実施結果概要報告

立教大学では2020年5月16日～21日の間、学生のみなさんの情報環境や学習状況などを把握し、オンライン授業の改善のための資料とすることを目的としたアンケートを実施しました。ご協力いただきありがとうございました。以下に概要をご報告します。

【調査概要】

調査対象：全学部学生

調査方法：立教時間による一斉メール配信により、Google Formsの所定URLから回答

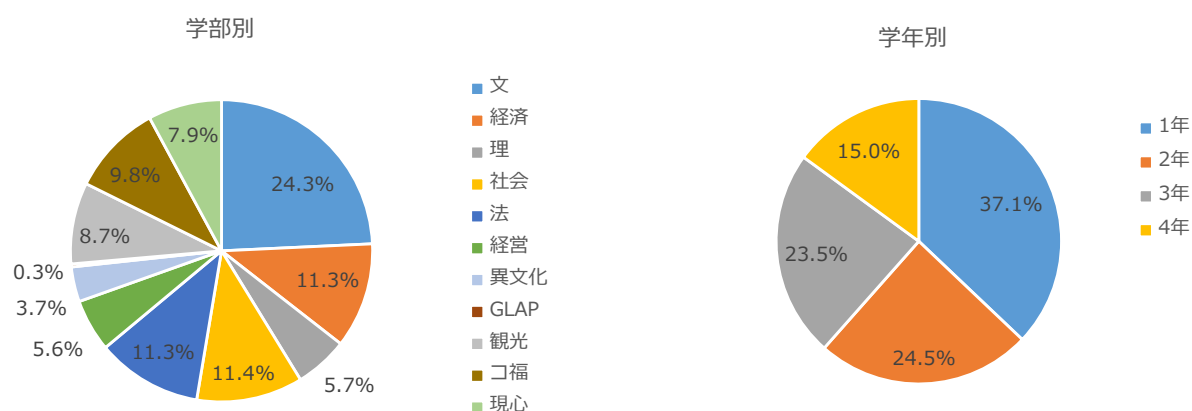
実施時期：2020年5月16日～5月21日 6日間

回答者数：4662名（回答率24.2%）

【回答者属性】（N=4662）

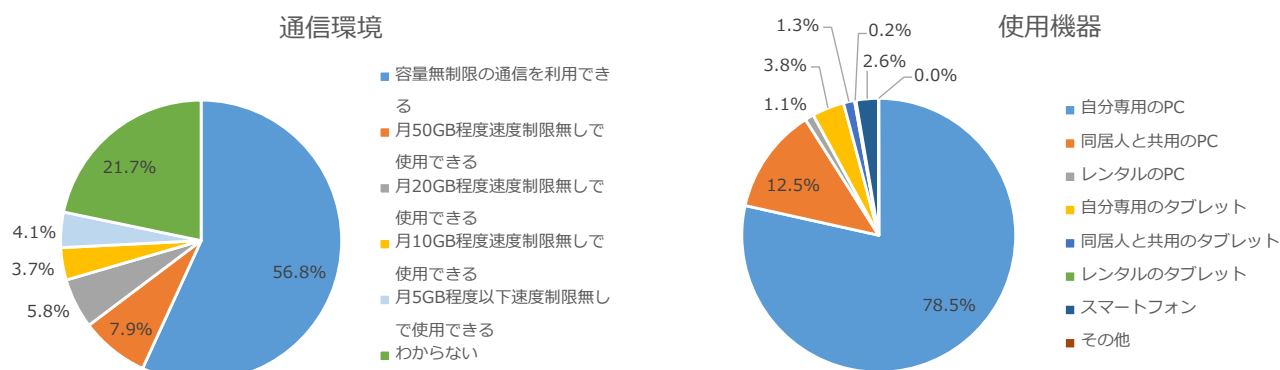
・オンライン授業受講の有無：回答者のうち、99.7%が受講中でした。

・回答者の学部構成比は所属学生数に応じた割合となっています。一方で学年比については、1年次生が37.1%と最も多く回答しています。

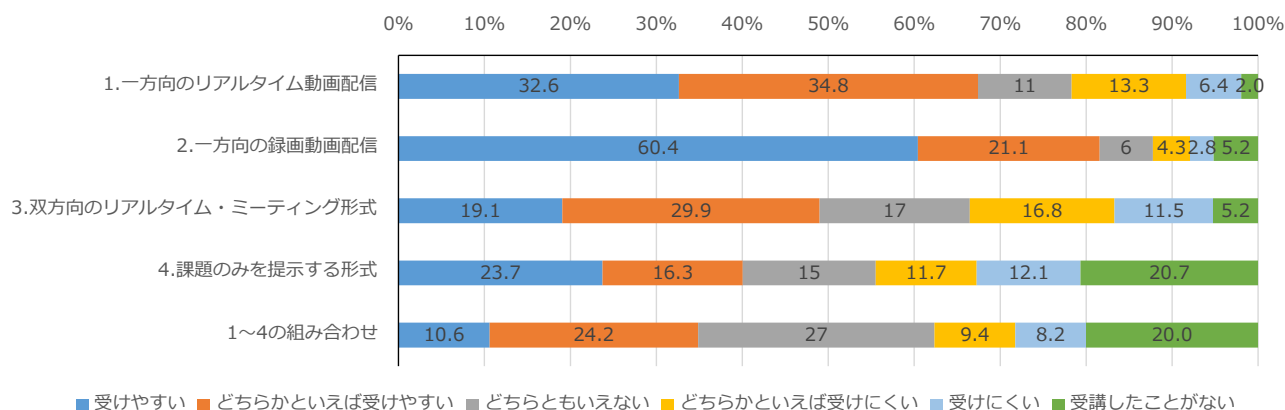


【調査結果】（N=4648）

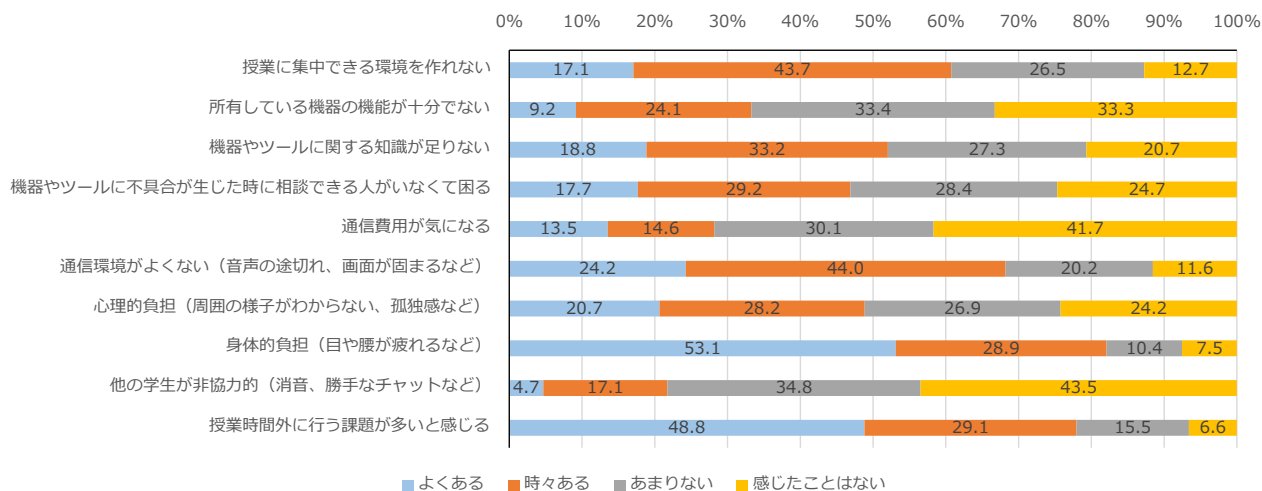
・オンライン授業を受講するための通信環境（月間容量データ）は多くの学生(56.8%)が容量無制限で利用可能と回答しているものの、20GB程度以下の学生も14%程いました。受講の際に利用している機器についてはほとんどがPCであり、タブレットは5.3%、スマートフォン利用は2.6%でした。



・授業形式別の受けやすさ（ゼミ・演習を除く）の設問では、講義形式について、「受けやすい」という回答は一方の録画動画配信が最も高い一方で、課題のみの形式及び双方向形式は「受けにくい」という回答が他の形式に比べ多い傾向が見受けられました。



・オンライン授業を受ける上で障害要因となる項目について聞いた設問では、「課題の多さ」、「身体的負担」が多く挙げられる傾向がありました。



・自由記述設問

【オンライン授業で良いと思った工夫やその理由】については、チャット機能などを使った場合の質問のしやすさ、通信不具合で受講がうまくできなかった学生のために録画をしている点、また録画の場合に繰り返し視聴できる点が多くあげられました。また、副次的なオンライン授業の良い点については、通学時間の節約や他キャンパス科目の履修等の意見もみられました。

一方で、【オンライン授業で改善が必要だと思う点】では、教員側の通信環境の不安定さやオンライン授業に対する知識・経験不足、立教時間やBlackboardなどの授業用システムの統一、課題のみ形式に対する不満、課題の多さ、適切な授業時間の要請、に関する記述が多く寄せられました。

また、【その他不安に感じていること】については、上記の課題の改善に加え、経済的な不安や友人関係を構築できないこと、そして、「早く大学に行きたい」という切実な声も多く聞かれました。

・おわりに

学生の皆さんへは、あらためまして、本アンケートへのご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。お寄せいただいた回答は、集計データとして個人を特定しない形で各学部等および事務局に提供しました。大学全体でオンライン授業改善のために活用させていただきます。また、大学教育開発・支援センターでは、このアンケートの結果を共有するための教員向け報告会を6月に実施し、授業改善に向けて研修の機会を設けることとしています。